

白 い ま ど

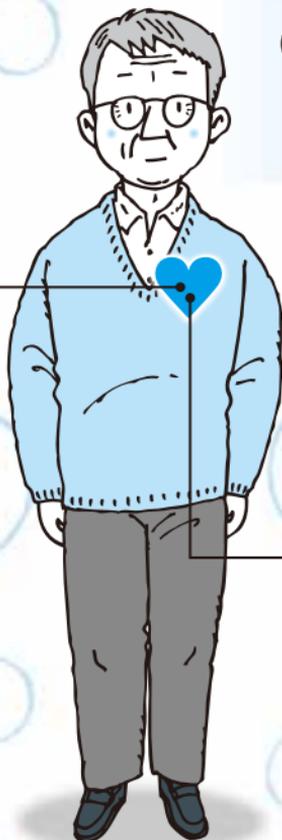
NOVEMBER
11

特集

からだにやさしい心臓血管手術
「血管内手術」の進歩 P-2

高齢者や子どもにも負担の少ない
治療法は特集ページで! ➡

● 大動脈瘤
● 大動脈弁狭窄症



● 心房中隔欠損症
● 動脈管開存症



- 栄養カード 柿 P-6
- 情報カード 患者さんの安全への取り組み その4. P-8
- 外来紹介 脳卒中科 P-9

病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

からだにやさしい心臓血管手術

「血管内手術」の進歩

「血管内手術」とは、動脈や静脈にカテーテルという管を挿入して、血管の内側から病気を治す方法です。以前より狭心症や心筋梗塞に対する「血管内手術」は標準的な治療として行われてきました。最近では、今まで開胸手術や開腹手術しか治療法がなかった病気に対する新しい「血管内手術」がめざましく進歩しており、身体に大きな傷をつくることなく、高齢者や身体の弱った方でも軽い負担で治療が受けられるようになってきています。

当院循環器センターでは、これら新しい「血管内手術」の導入を積極的に行っています。今回はここ数年で可能となった新しい治療についてご紹介します。

1 大動脈瘤(腹部および胸部)に対するステントグラフト手術

大動脈瘤とは、大動脈の壁が膨らんでできたこぶ(瘤)のことで、「腹部大動脈瘤」と「胸部大動脈瘤」に分けられます。放置すれば破裂の危険があります。



この治療法は、脚の付け根から動脈にカテーテルを挿入し、動脈瘤の内側にステントグラフト(骨格付き人工血管)を留置することによって、動脈瘤に血液の圧力がかからないようにするものです。



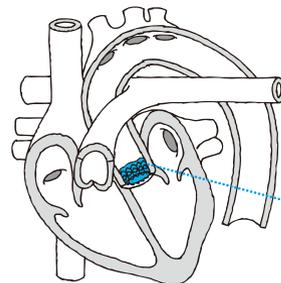
2 大動脈弁狭窄症きょうさくに対するカテーテル治療「TAVI(タビ)」

大動脈弁狭窄症とは、心臓の出口の大動脈弁が硬くなり、開きにくなる進行性の病気です。

この治療法では、脚の付け根の動脈から、小さくたたんだ骨格付き人工弁を装着したカテーテルを挿入し、心臓の中まで運び、元々の大動脈弁の位置で人工弁をバルーンでひろげて固定します。心尖部しんせんぶという心臓の先端から挿入する場合があります。従来の手術で使用していた人工心臓は使わず、心臓は動いたままで治療できます。



▲人工弁を装着したカテーテル



▲人工弁を心臓に留置します

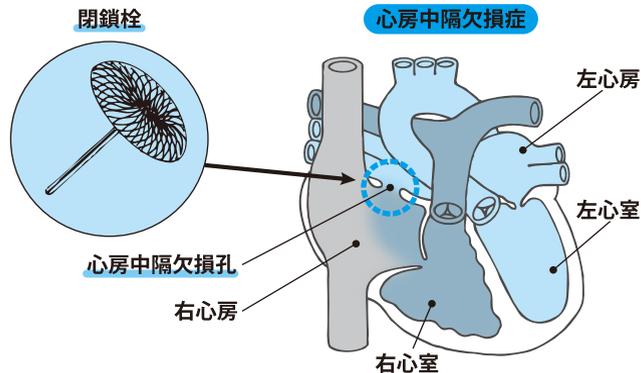


▲人工弁を上から見た図

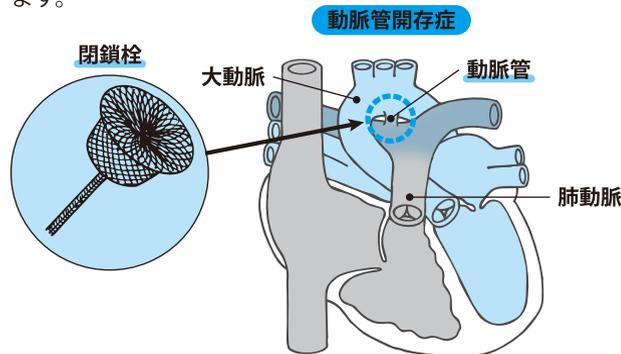
3 心房中隔欠損症に対するカテーテル治療

心房中隔欠損症とは、右心房と左心房の間の心房中隔という壁に先天的に穴(欠損孔)があいている疾患です。放置すれば心不全や不整脈の原因となります。

この治療法では、脚の付け根の静脈から、傘のようにたたんだ閉鎖栓(金属のメッシュを立体形成したものを)を装着したカテーテルを挿入し、欠損孔の前後で心房中隔をはさむ形でひろげて留置することで孔を覆います。



この治療法では、脚の付け根の動脈や静脈から、傘のようにたたんだ閉鎖栓(金属のメッシュを立体形成したものを)を装着したカテーテルを挿入し、動脈管の中で閉鎖栓をひろげて留置することで管の中の血液の流れを止めます。



これらの新しいカテーテル治療により、身体への負担が軽くなり、今まで手術を受けることを躊躇ちゆうちゆうしたりあきらめたりしていたような方でも、安心して治療を受けていただくことができるようになりました。先天性の心臓病でも治療の選択肢が拡がり、治療法を患者さんを選んでいただくことが可能となっています。

4 動脈管開存症に対するカテーテル治療

動脈管開存症とは、心臓から肺へ血液を送る肺動脈と心臓から全身へ血液を送る大動脈が、動脈管という血管によってつながっている先天的な疾患で、必ず閉鎖が必要です。放置すれば心不全や感染性心内膜炎の原因となります。

- * いずれの治療法も、適用されるかどうかの決定には専門的な判断が必要です。治療のご相談を希望される方は、かかりつけの先生を通して循環器センター(心臓血管外科、小児循環器科、循環器科)外来にご相談ください。

* 詳しくは…

聖隷浜松病院 循環器センター 治療法のトピックス
で検索!

栄養Card 柿



調味といってもいいでしょう。今回は秋の代表的な果物「柿」を使って、ひと手間かけたデザートレシピをご紹介します。

＊柿の栄養価

「柿が赤くなれば、医者が青くなる」と言われるほど柿には栄養が豊富に含まれています。どの品種もペクチン、ビタミンA、ビタミンCを多く含んでおり、特にビタミンCは柿1個で一日の必要量をほぼまかなえるくらい含んでいます。

●ビタミンC●

- ・コラーゲンの合成を助け、肌や骨を丈夫にする
- ・免疫力を高め、風邪やがんを予防する
- ・ストレスに対抗するホルモンを作る

●ビタミンA●

- ・皮膚や粘膜を正常に保ち免疫力を高める作用がある
- ・発がん抑制作用がある
- ・眼の機能を守り、夜間の視力低下を防ぐ

「食欲の秋」。秋になると食欲が増すのは、たくさん食べたり眠ったりすることでセロトニンを増やし、精神の安定を保とうとするからではないかと言われています。また、同時に旬の食材が多い季節ですので食を楽しむ醍

柿とりんごのコンポート

1人分/約110kcal



＊レシピ

材料 (2人前)

- 柿……………1個
- りんご……………1/4個
- ゆずの皮……………少々
- ★ レモン汁……………大さじ1
- ★ はちみつ……………大さじ1
- ★ 水……………大さじ3

作り方

- 1 柿とりんごを一口大にカットする。
- 2 ①と★を合わせて加熱する。
- 3 沸騰したら煮汁が半分になるまで煮詰める。
- 4 あら熱が取れたら冷蔵庫で冷やす。
- 5 冷えたら器に盛付け、ゆずの皮を飾り付けて完成。(保存期間:冷蔵庫で1週間程度)

コンポートとは?



果物や野菜をシロップやワインで煮込んだ洋菓子です。ジャムと比べて糖度が低くフレッシュでフルーツの食感や風味が楽しめます。そのまま食べても、バナナアイスやヨーグルトにかけて食べても美味しいです。

▶文責:栄養課 竹内 博紀(管理栄養士)

シリーズ 聖隷浜松病院の
患者さんの安全への取り組み ― その4.

“手術や治療・処置を行う際に、
患者や部位・手技の間違い”を防止する

当院は、国際的病院機能評価機関であるJCI (Joint Commission International) の認証を2012年11月、日本で5番目に取得しています。

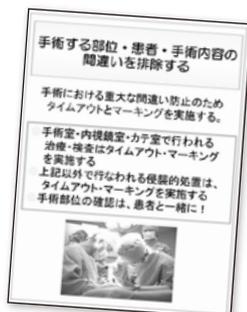
その審査項目は1200以上に及びますが、患者さんの安全を保護する仕組みの整備と徹底が厳しく評価されます。現在当院では、特に以下の6項目の防止を強化しています。

- ① 患者間違い
- ② 医療者間のコミュニケーションエラー
- ③ 薬剤の不適切な使用
- ④ 手術部位の間違い
- ⑤ 医療に関連した感染
- ⑥ 転倒・転落

いずれも注意して当たり前の内容ばかりですが、実は世界中でこの6項目が防止できないために患者さんの安全が脅かされていることがわかっています。

今回は、「④を防止するために院内で定めた
職員の安全行動」についてご紹介します。

別の患者さんを手術したり、左右を間違えたりしては取り返しのつかない事故になってしまいます。当院ではこれらの事故を予防し患者さんの安全を確保する対策として、次の2つの方法を採用しています。①「タイムアウト」: 取り決めた手術や処置・検査の実施直前に、それに関わる職員全員が一旦手を止めて患者さん情報を最終的に確認・共有します。②「マーキング」: 左右別のある手術では間違い防止のために患者さんも参加のうえで手術を受ける側の皮膚にマジックで→(矢印)を付けています。



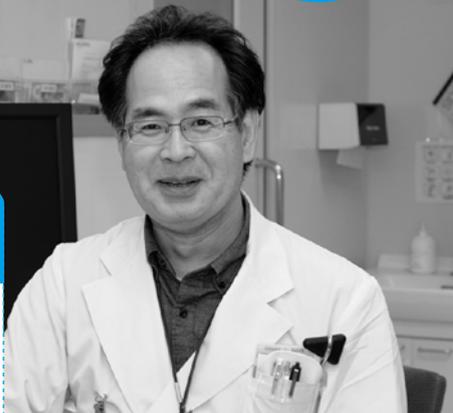
▲職員にはこのようなポスターを
掲示し、周知しています

文責:安全管理室 中野 由美子

脳卒中科

おおはし としひこ
担当 部長 大橋 寿彦

- ▶ 出身地 / 佐久間町浦川
- ▶ 出身校 / 新潟大学 (1985年卒)
- ▶ 趣味 / 模型 (プラモ、Nゲージ)
生き物飼育



今までの生活を奪ってしまう脳卒中、 予防がなにより大切です

脳梗塞、脳出血やクモ膜下出血などの脳血管障害は脳卒中と呼ばれます。脳卒中の治療には、急性期に行う治療と、状態が落ち着いた後の慢性期の治療(再発予防)があります。当院の脳卒中外来は主に慢性期の治療を行っています。片麻痺など急性期の脳卒中症状が出た場合は一刻も早い治療が必要なため、脳卒中外来を受診するのではなく、救急車を呼んで急いで病院に搬送してもらう必要があります。

脳卒中になると命を奪われたり、後遺症を残すことも多いので、予防していくことがなにより大切です。脳卒中について理解し、予防ができるよう毎年「脳卒中市民公開セミナー」を開催しています。今年も12月20日に開催しますので、興味のある方は是非ご参加ください。お待ちしております。

脳卒中市民公開セミナーの詳細は裏表紙をご覧ください。



聖隷浜松病院からのお知らせ

新任医師紹介



耳鼻咽喉科

さはら そうすけ
佐原 聡甫

浜松医科大学
(2012年卒)
※10月20日着任



膠原病リウマチ内科

いわなが ともあき
岩永 智陽

近畿大学
(2009年卒)

■ 紹介状をお持ちください

紹介状及び**予約が必要な診療科(紹介・予約制)**がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちで無い場合は、初診時**選定療養費**として**3,240円**を別途ご負担いただいております。

当院では、基幹病院と地域の「かかりつけ医」(医院、診療所等)が役割を分担し、連携しながら適切な医療を提供する「地域医療連携」を推進しています。皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

※初診時は医療機関からの事前予約にご協力をお願いいたします。

■ 面会について

- 面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00
- 産科・小児科病棟の面会者は1階総合受付で手続きのうえ、面会者札の着用をお願いいたします。

聖隷浜松病院 第4回 脳卒中市民公開セミナー

日時 2014年**12月20日(土)**
13:30～16:00(開場13:00)

場所 聖隷浜松病院 集団指導室

内容 医師・栄養士等の講演、
体験ブース(試食・血圧測定・リハビリ等)

主催 聖隷浜松病院 脳卒中センター

問合せ先 地域医療連絡室(JUNC) TEL.053-474-8801(月～金9:00～17:00)

参加費無料
申込不要
どなたでもご参加
いただけます!



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 **聖隷浜松病院**

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 病院長 鳥居 裕一